

# カリキュラムマネジメント



「これが好き！」を見つけて、とことん楽しむ！

自分の中に眠る可能性の宝を探し続けていく元気と意気込みを！



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)  
主催: 独立行政法人日本芸術文化振興会

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。←

## ① 何ができるようになるか (育成を目指す資質・能力)

### 〈行動力〉

舞台芸術をフィールドにしたアクティブな体験によって、子供の頃から芸術への楽しみや親しみを見出すことで好奇心を刺激し、仲間との交流の機会、生活意欲の増進やクオリティオブライフ(QOL:生活の質・個々の人生の充実)を向上させ、自ら行動する力へとつなげていきます。

## ② 何を学ぶか (学ぶ意識)

### 〈ノンバーバルコミュニケーション〉

ノンバーバルコミュニケーションは、その場のコミュニケーションの円滑化、信頼関係の構築に有効です。相手との間合いや距離感によって、よりよい関係を築くことができます。身振り手振り、表現、話し方などによって意思や考えを伝えることが、ノンバーバルコミュニケーションになります。

こうした微妙で繊細なニュアンスについて、プロの非言語コミュニケーション力をお手本にしながら表現することを学びます。

## ③ どのように学ぶか (指導計画と実施)

「体にスイッチ」、「空間にスイッチ」の実施内容(計画)をご参照ください。

## ④ 子供一人一人の発達をどのように支援するか (子供の発達を踏まえた指導)

### 〈共感力〉

ノンバーバルなメッセージは状況の理解を助ける点において成長にばらつきのある環境に有効です。様々な価値観の違いを認め合い、時には言語や文化の違いをも超えて友好的な関係を創り出すことができます。また、共感し合う関係性が生み出されるのも特徴です。集団活動の苦手な子供のパフォーマンスに、友だちや先生たちがびっくりさせられるなど、共感する力は様々なドラマを生み出します。

## ⑤ 何が身に付いたか (学習評価の基準)

### 〈表現力〉


表現力向上の妨げになる原因には、心に余裕がない、自己否定、先入観が強い、不安感、自分以外に無関心、覚悟の無さ、認知がかたよりがち、などが挙げられ、表現力を磨くにも磨けないジレンマに陥りやすいと考えられます。パフォーマンスの成功体験は、このようなジレンマや生きづらさを解消し、コミュニケーション能力、自己管理能力、メンタルタフネス、思考の柔軟性、余裕、覚悟、勇気、など、困難な場面でも生き抜く力を培うことができます。感想を言い合う・感想文を書くことによって、成功体験の喜びを再確認し、その人がその人らしく生きていく力へとつなげていきます。

# 体にスイッチ

## ワークショップ：ペットボトルダンス

※ 500mlのペットボトルに水を3分の1入れて使います。



進行内容	時間	実施内容(計画)	学習指導のねらい
(1) 実演・自己紹介	5分	始めにダンサーの実演を見て「どんなダンスに挑戦するか」、「ペットボトルをどのように使うか」見通しがかかります。ダンサーのハキハキとした自己紹介からダンサーと児童生徒との双方向のコミュニケーションを大切にしています。	ワークショップの冒頭から、実演、言葉遣い、姿勢など、ダンサーの関連な行動力に触れ、体を使ったコミュニケーションへの期待感が膨らみます。
(2) 体ほぐし	10分	ペットボトルを使って体をほぐします。ペットボトルを使うことによって手足だけではなく体幹までしっかり動かすことができるようになります。全身の運動バランスを整えて体全部を使った活動への準備になります。 	ペットボトル(手具)を用いることによって動きに集中しやすくなります。「手具を共用する安心感」、「目的とする動きがわかりやすい」のが特徴です。ここでは、「間違えても大丈夫」を体験することで、ダンスの苦手意識やジレンマを解消して、やる気、モチベーションを高めることができますようになります。
(3) 実践	小学校 25分 中学校 35分	▶ 始めに「振る」「回す」「挟む」など簡単な動作からダンサーの動きを真似しながら徐々に全身を使って踊れるようになります。 ▶ ペットボトルに入れた水の振動や感触がリズム習得の助けになって、あつという間に音楽に合わせて踊れるようになります。 ▶ 「ダンサーの真似をする」→「先生の真似をする」→「友だちの真似をする」の順番でパフォーマンスを実践します。前に出て踊った児童・生徒を中心に公演に出演する約20名の代表児童・生徒を先生との話し合いで決定します。	ダンサーを見本に <u>ノンバーバルコミュニケーション</u> の実践、ダンス、リズムの習得を目指します。ワークショップの仕上げは表現力です。児童・生徒の発表を含めたパフォーマンスの成功体験を獲得させます。ワークショップの最後にダンサーから公演のインフォメーションがあります。

# 空間にスイッチ

## 公演：児童・生徒の共演、参加・体験の形態



進行内容	時間	実施内容(計画)	学習指導のねらい
舞台リハーサル	20分~40分 (応相談)	▶ ワークショップで覚えたダンスをメインプログラムで披露してもらうためにダンスを思い出して練習し、照明を入れて本番どおりにリハーサルを行います。 ▶ 表現の指導:最後に演出家から舞台で踊るための説明があります。	人との間合い、照明や音響との間合いなど、舞台進行を良く理解し、舞台を成功させる目標達成に向けてチームの一員となって、意気込み、熱意、自覚、積極性など、士気を高めます。
開場	開演約 10分前	体育館が一夜にして劇場空間に変わる驚きを体験してもらいます。子供たちに創造力の原点に触れてもらうチャンスです。	舞台芸術(パフォーマンスアーツ)は、舞台や空間上で行われる芸術の総称です。舞台芸術の三大要素は、「空間」「時間」「人間」です。体と空間にスイッチして楽しむことが何より大事なことです。
公演	上演時間 60分	(1) ワークショップで覚えたダンスを舞台上で披露 演目『ねむり姫』のキャストになって踊ります。 (2) 幼少期オーロラ役1名(小学生)/青年期オーロラ役1名(中学生)として出演 豊かな森で成長するオーロラ姫の子役として出演します。 (3) 本公演で使用する映像に出演 ワークショップの際に撮影。各学校オリジナル映像を製作します。 (4) 王様役とお妃様役として先生が出演 舞台前半の祝宴のシーンで先生が登場します。 (5) 特典：プロの仕事に触れる・タネあかし 舞台の裏側の仕掛けまでお見せします。	
※最後に感想文の作成について舞台解説者からインフォメーションがあります。感想を言い合う・感想文を書くことによって、成功体験の喜びを再確認し、その人がその人らしく生きていく力へとつなげていきます。			

### 〈カリマネ制作チーム〉

川野眞子・・・舞台芸術体験・鑑賞プログラム、カリキュラムの制作、指導員の養成・派遣。  
学校巡回公演のワークショップ講師、舞台解説。

戸田裕美子・・・教育番組のディレクターを15年務め、2023年SDGsプロジェクトのメンバーとしても活動。

矢野光一・・・米国ペンシルバニア州立カッツタウン大学にて舞台芸術を専攻。中高生体育教育課程を修了。  
東京インターナショナルスクールにて主にダンス指導を体育授業や演劇授業にて実施。

水島晃太郎・・・筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻修了。  
現役ダンサーとして活動しながら大学ダンス部への指導や学会でのワークショップを行う。

国枝昌人・・・横浜国立大学 教育人間科学部 教科教育コース(美術専攻)卒業。  
2021年より東京工芸大学 舞踊クラス 非常勤教育支援員を務める。

みながわはるか・・・公認心理師。文学研究科心理学専攻修士課程修了。

### ナチュラルダンスシアターの生きる力

ナチュラルダンスシアターは、すべての人々が一律に芸術による刺激を得られるようにすることを理念に、想像力豊かな舞台を創出し、舞台を見る喜びを提供することで、人々の暮らしの充実に貢献することを使命としています。よりよい舞台を公平かつ安定的に保証するために2008年より学校巡回公演を実施しています。子供たちに自分の人生や社会のあり方に結びつけながら作品への理解を深めてもらうことを大切にしています。

答えが一つじゃないのが芸術のよいところです。お互いの違いを認め合い、お互いに尊重し合う、豊かな経験は、その人がその人らしく生きていく力につながると信じています。

学校巡回公演は、ワークショップと公演の2回に分けて実施する出張型の公益事業です。事業実施にかかる学校の経費負担はありません。

ナチュラルダンスシアター  
Natural dance theatre

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 1-11-12 [tel/fax] 03-3391-2353(代)  
[e-mail] naturalmako@gmail.com [URL] http://naturaldancetheatre.com